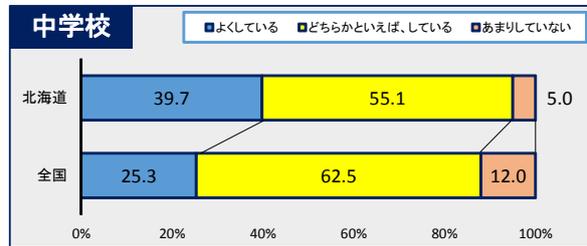
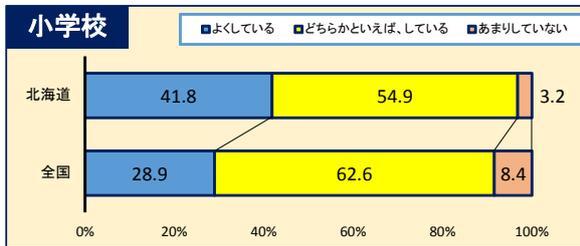


# 5 検証改善サイクルの改善の方向性

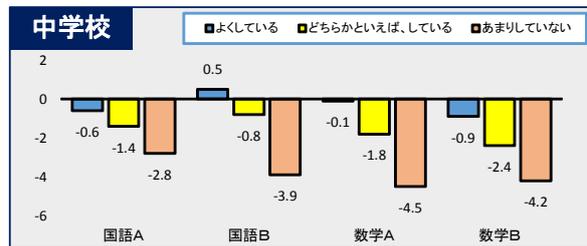
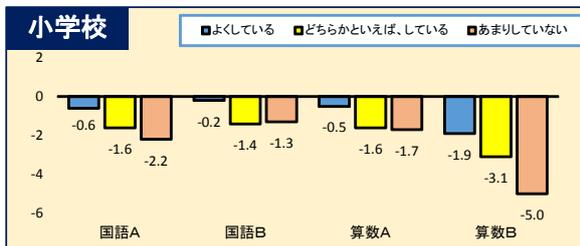
## 検証改善サイクルに関する学校の取組状況〔学校質問紙の全国との比較〕

「児童生徒の姿や地域の現状に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか」

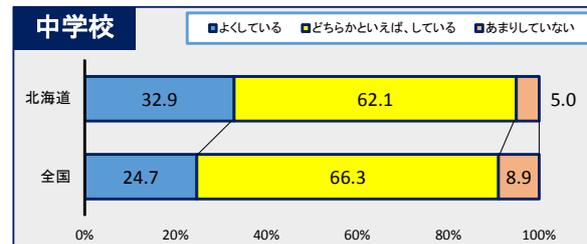
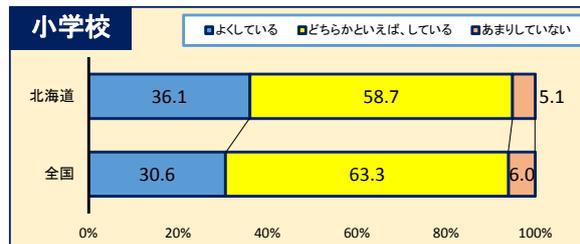


### 〔学校質問紙と学力のクロス分析〕

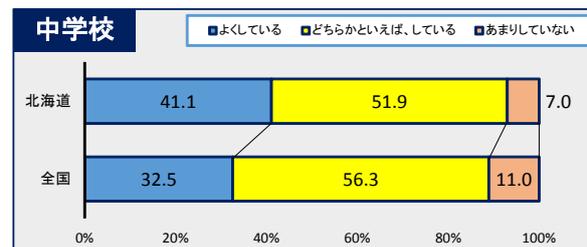
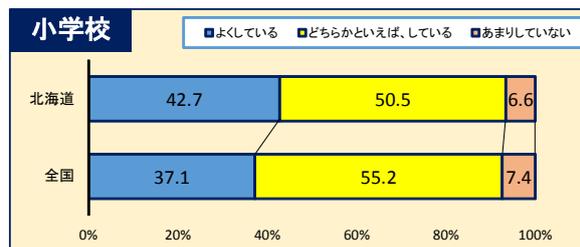
※学校質問紙の回答状況ごとの教科における全国平均との差



「指導計画について、言語活動に重点を置いて作成していますか」



「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、(外国語活動、)総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか」



検証改善サイクルに関する学校の取組状況については、「児童生徒の姿や地域の現状に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか」の質問に対し、「よくしている」と回答した小・中学校の割合が全国を上回るなど、多くの項目で全国よりも高い状況が見られます。しかしながら、クロス分析の結果から、多くの教科で全国平均を下回っており、十分な成果が見られるとは言えない状況です。

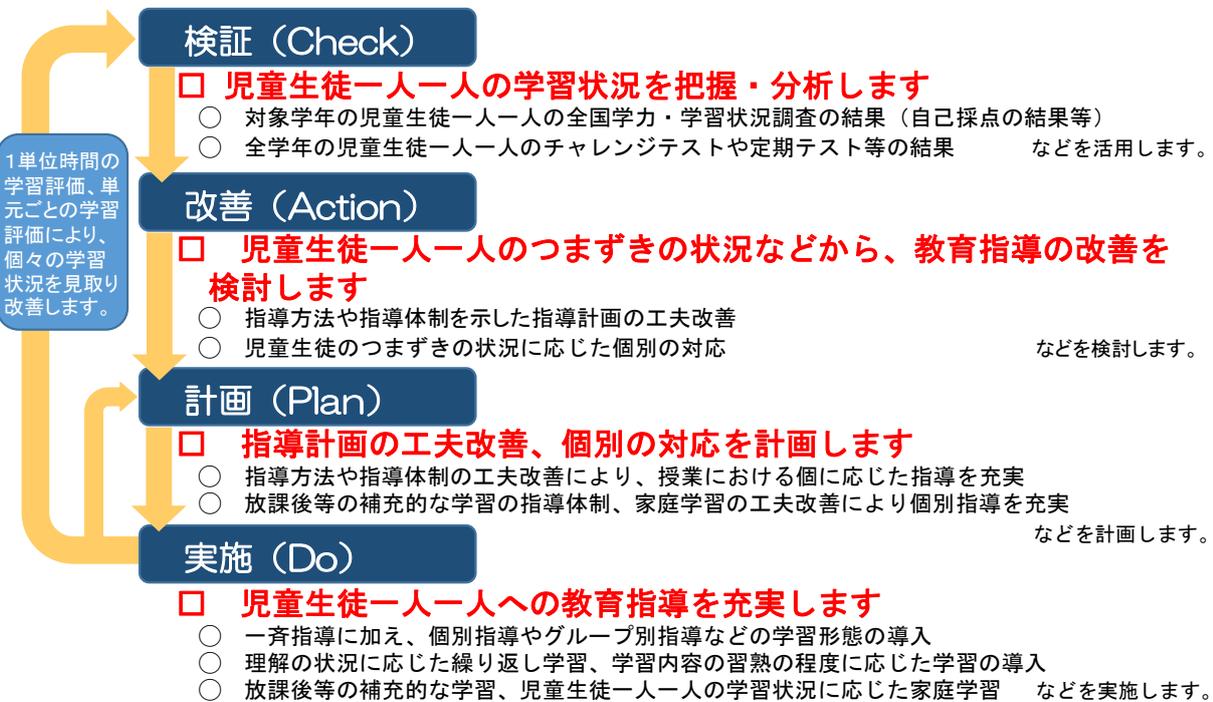
これらのことから、検証改善サイクルの確立に向けた方法や内容を見直し、質の向上を図る必要があります。

# ① 全国学力・学習状況調査等を活用した検証改善サイクルの確立



# ② 児童生徒一人一人の学習状況の改善

児童生徒が、基礎的・基本的な知識及び技能の習得も含め、学習内容を確実に身に付けることができるよう、調査結果等に基づき、児童生徒一人一人の学習状況を把握・分析し、指導計画や指導方法、指導体制の工夫改善を図ります。学習の遅れがちな児童生徒には特に配慮し、すべての児童生徒に学習内容が確実に定着するようにします。



# 教師及び生徒による授業評価を活用した検証改善サイクルの確立

(「地域の学力向上支援事業」拠点校の取組から)

教師及び生徒による授業評価を年3回実施し、結果を分析して改善の方向性について共通理解を図り、授業改善や指導の充実に取り組んでいます。

## 【教師による授業評価】

項目	質問項目	平均値
①	生徒の意欲が高まるような導入になっている。	3.2
②	本時の課題が生徒に理解されている。	3.0
③	参考資料や作品、画像は生徒の考えを高めるために役立っている。	3.1
④	課題に取り組むことができない生徒に対して適切に支援している。	3.0
⑤	発問や説明、指示は分かりやすいものとなっている。	3.0

4～よい 3～概ねよい 2～やや改善点がある  
1～改善点がある 0～該当しない

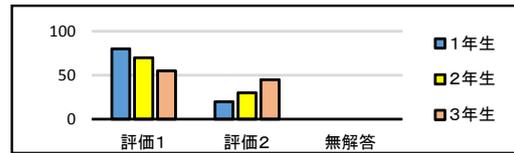
## 【結果の分析】

- 教師による評価では、導入場面での評価が高い。生徒による評価では、学年が上がるにつれて興味の低下が見られる。導入場面だけではなく、1単位時間の課題及び教材などで、生徒の思考を揺さぶることができる授業改善を図る必要がある。
- 教師による評価では、発問、説明、指示は概ねよい。生徒による評価では、1割程度であるものの、教師の発問や説明の理解が難しいと感じている生徒がいる。すべての生徒が理解できるように生徒の目線に立ち、明確で短い発問や説明に改善する必要がある。

## 【生徒による授業評価】

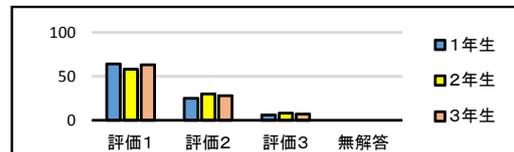
- 先生の授業は「もっと知りたい」という興味をもてる題材が授業の中であると思いますか。

[1 興味をもてる部分がある 2 興味をもてる部分がない]



- 先生の授業中の説明やみなさんへの問いかけは分かりやすいと思いますか。

[1 とても分かりやすい 2 ある程度は理解できる 3 理解できないことが多い]



# 課題を明確にした授業改善(書く活動を通じた指導の充実)

(「授業改善推進チーム活用事業」配置校の取組から)

児童に学習内容を確実に定着させるためには、書く活動を充実させる必要があると考え、年間を通して、検証を重ねながら、組織的・計画的な取組を進めています。

## 【全校で統一したノート指導】

## 【板書と関連を図ったノート指導】

### 【組織的な取組】

- ノートづくりの視点
- ・ めあてとまとめを正対させて書く。
- ・ 各教科で学習した用語や表現を用いて書く。
- ・ 自分の考えや立場を明確にして書く。
- ・ 自分の考えの変容が分かるように書く。
- ・ 条件(字数やテーマ等)に応じて書く。
- ・ 理由や根拠を付け加えて書く。
- ・ 交流を通じて深めた考えを書く。

【算数科】

①【数学的な考え方】中心の授業

見開き	① 目的(GO) <自分の考え>	②【知識・理解・技能】 <アサイン授業の場>
二ページ	① 目的(GO) <自分の考え>	②【知識・理解・技能】 <アサイン授業の場>

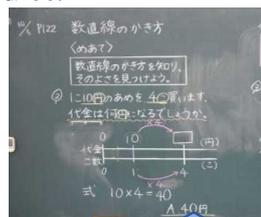
【国語科】

板書例→授業の流れが一目で分かる板書に

ノート例→学びの跡が見えるノートに

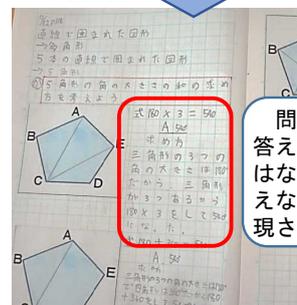
研修などを通じて共通理解を図る。

### 【板書】



「めあて」と「まとめ」、思考の流れを分かりやすく示すとともに、児童のノートの文字数や行数を意識して板書する。

### 【ノート指導】



問題について、答えを出すだけではなく、自分の考えなどを文章で表現させる。

児童の思考の深まりや授業の満足度の高まり

授業や家庭学習でのノートの活用の促進

- ・ 振り返り場面で活用
- ・ 復習で活用

定期的な学習内容の定着状況の確認

- ・ 授業の振り返り
- ・ 単元テスト
- ・ チャレンジテスト等